



ひびき新聞
自由民主党 衆議院議員

たばた裕明
ひろあき

富山事務所 〒930-0017 富山市東田地方町2丁目2-5
TEL: 076-471-6036 / FAX: 076-471-6037
国会事務所 〒100-8982 千代田区永田町2丁目1-2
衆議院第2議員会館214号室
TEL: 03-3508-7704 / FAX: 03-3508-3454

総務副大臣として、
皆さんのお声を
たばねる、
こたえる。

～今こそ、地方が主役の国づくりを～



総務副大臣に就任して6ヶ月が経過し、副大臣公務をはじめ国会対応や政策づくりの種まきなど多忙を極める田畑に、永田町での活動の一端を聞いた。
— 総務副大臣としての日々の活動内容についてお聞かせください —
ほぼ毎日、副大臣室に登庁し執務を行っており、人事案件や政令改正など数多くの事項を決定しています。総務省内の各種研究会やプロジェクトがある時は、説明を受けるだけでなく、私なりの意見を述べられるようになっていきます。金子恭之総務大臣の代理で対外行事に出席することも頻繁にあります。
国会対応では、質問通告が2日前もしくは前日にあり、当日朝に質問勉強会をして、答弁に立つという慌ただしいスケジュールですが、合間には報道各紙の総務行政に関する記事すべてに目を通し、我々の仕事が世間どう報道され、分析されているかを検証しています。
— 国会での審議対応についてただけですか —
総務委員会は毎週火曜日、木曜日が定例開催日であり、金子総務大臣を支えるべく委員会質疑に出席しています。私は行政の一員ですので、立法府である国会に呼ばれば必ず出席しなければならず、委員会開会の15分前には委員会室に到着するようにしています。質問に対する答弁は持論を回答するのではなく、政策の継続性や立法の意義を踏まえて簡潔に行うよう意識しています。
他の府省の委員会に総務大臣が呼ばれることはなく、その場合副大臣が

総務省を代表して常に出席し答弁します。これは緊張度合いがさらに高い現場です。国会対応は6月15日の会期末まで続きます。
— デジタル田園都市国家構想についてお聞かせください —
地方には、仕事・収入や教育・子育て、医療の充実などの課題があり、これらはデジタル実装を通じた解決が期待されています。こうした地方の課題に対して、デジタル技術を活用して解決を図り、地方と都市の差を縮めることを目指します。
① デジタル人材の育成確保をどのように図っていくべきか
② 地方を支えるデジタル基盤の整備をどのように進めていくべきか
③ デジタル化のメリットから誰一人取り残さない社会の実現をどのように図っていくべきかについて議論を深めています。
単なる東京のスマートフォンを指すのではなく、地域の豊かさをそのままに、都市を上回る利便性と魅力を提供した新たな地方像を世界に示すことも提示していきたいです。
ただし、魔法のようにある日突然「デジタル田園都市」ができるわけではありませぬ。インフラ、公共サービス、各種の生活サービスからなるデジタル基盤を整ってはじめて実現する考えです。単に地方任せにせず、国が必要なツールや基盤を用意し、それを地域の創意工夫で活用してもらう、国・地方一体となった「デジタル田園都市」を作っていきます。
地方議員を9年半経験している私の力が存分に発揮できる分野だと思ひ、使命感をもって日々取り組んでいます。

最新情報はこちら！
Facebook QR
LINE QR
Instagram QR
Twitter QR
YouTube QR
公式サイト QR

令和4年度総務省予算のポイント

地方自治	自治体の情報システムの標準化を推進するとともに、地方の活性化に資する施策を引き続き実施。
地方財政	地方交付税総額は前年度を0.6兆円上回る18.1兆円を確保し、臨時財政対策債を前年度から3.7兆円大幅に抑制。
マイナンバーカード	「令和4年度末にほぼ全国民にマイナンバーカードが行き渡ることを目指す」との政府方針の下、市区町村におけるカードの申請・交付体制整備等を引き続き支援。
情報通信	Beyond 5Gや量子暗号通信など先端技術の研究開発を推進。さらに、「デジタル田園都市国家構想」を踏まえ、光ファイバーや5G基地局などの地方整備を支援するほか、高齢者等に対するデジタル活用支援の地方展開を拡充。
統計調査	公的統計の体系的な整備・提供を推進。
消防庁	大規模災害への国の対応力強化のため、緊急消防援助隊を充実強化。

コロナ禍の長期化を踏まえ、与党議員としてどう対処するかが問われている。
今日も富山の皆さんの声を聞く！



たばた裕明プロフィール

- 選挙区: 富山1区 (区域は旧富山市)
- 経歴: 昭和48年1月2日 富山市生まれ / 平成3年3月 富山県立富山東高等学校卒業 (27期生) / 平成7年3月 獨協大学経済学部卒業 / 平成7年4月 株式会社富山第一銀行入社 / 平成15年4月 富山市議会議員選挙初当選 / 平成17年、平成21年と計3期連続当選 / 平成23年4月 富山県議会議員選挙初当選 / 平成24年12月 第46回衆議院議員選挙 初当選 (70,268票) / 平成26年12月 第47回衆議院議員選挙 2期目当選 (70,085票) / 平成29年10月 第48回衆議院議員選挙 3期目当選 (74,876票) / 令和3年10月 第49回衆議院議員選挙 4期目当選 (71,696票)
- 内閣: 総務副大臣 (令和3年10月～現在) / 厚生労働大臣政務官 (平成29年～平成30年)
- 衆議院: 社会保障制度調査会 幹事 / 社会保障制度調査会 医療委員会 難病等に関するPT 事務局長 / 厚生労働委員会 理事 / スポーツ立国調査会 事務局長次長 / 文部科学委員会 理事 / 整備新幹線等鉄道調査会 北陸新幹線整備PT 事務局長次長
- 議員連盟: 党風一新の会 事務局長 / ひきこもり支援推進議員連盟 事務局長 / 認知症グループホームを考える議員連盟 事務局長 / 地域で安心して分擔できる医療施設の存続を目指す議員連盟 事務局長 / LRT 推進議員連盟 事務局長 (令和4年4月15日現在)

等身大のたばた裕明
「息子たちとスーパー戦隊ヒーローごっこ」
第五話
皆様、日頃より大変お世話になっております！おかげ様で家族揃って元気に富山で過ごしております！
さて、現在4歳と2歳の息子、はテレビのスーパー戦隊シリーズにハマりしています。息子二人に退治されます(笑)
3月から新シリーズである「暴太郎戦隊ドンブラザーズ」が始まり、前作の「機界戦隊ゼンカイジャー」同様、自分がヒーローになりきって主人に戦いを挑んでいます。お約束のセリフや必殺技を兄弟揃って真似しては家中を飛び跳ねています！！
勧善懲悪のわかりやすいストーリーに私たち夫婦も頭きながら視聴し、かつ、主人は体を張って子供たちの相手をしていきます(笑)
悪役の主人は節分の日に使用した緑色の鬼の仮面をかぶり、最後はヒーロー役の息子二人に退治されます(笑)
まだまだ体力は幼児に負けない主人ですが、いつの日か身長、体重とも息子に追い越されることを、なかなかに楽しみに遊んでいるようです。
しかし、スーパー戦隊もののキャラクター設定はよく作り込まれており、最新シリーズは、昔話の桃太郎をモチーフに構成されています。主役名は「桃井タロウ」、イメージカラーは「もちろん赤色」/ 4歳の長男は、着るもの全てその影響を受けて、毎日赤色の洋服しか着ません！！
主人はグリーン色を着て、息子と戦う日々です(笑)
妻・あみこ

富山の街頭に立ち続ける田畑！



総務副大臣として 国民生活の安心・安定・向上に全力!!



▲金子恭之総務大臣と

▲国政報告会で寄せられたアンケート回答を集計したテキストマイニング

代議士 推進 地方創生
 行政 対応 住みやすい 期待 考える
 安心 安全 安心 安心 安心
 安心 安心 安心 安心 安心
 安心 安心 安心 安心 安心



▲新田八朗富山県知事、藤井裕久富山市長、夏野修砺波市長より地域要望を受けるとともに、令和2年国勢調査のインターネット回答率（富山県は全国1位）の総務大臣表彰を授与

本音の対話を大切に



▲繊維産業振興について対話集会・滋賀県愛荘町にて



▲熊谷市の埼玉県立循環器・呼吸器センターにてコロナ患者受け入れ状況を確認



▲令和3年7月熱海市の土石流災害発生現場にて

全国の現場へ



▲高知ひきこもりピアサポートセンターにて



▲足立区立第四中学校夜間学級にて、外国籍の方への教育機会の提供の現場を視察



▲別府市にて障害者雇用を積極的に進める社会福祉法人太陽の家に



▲塩田康一鹿児島県知事、田之上耕三鹿児島県議会議長と
▲山口祥義佐賀県知事と
▲阿部守一長野県知事と
▲広瀬勝貞大分県知事と

国会対応

総務副大臣として国会対応は最優先業務だ。衆参の総務委員会にも出席し、総務省を代表して答弁に立つ田畑。内政全般を幅広くカバーしている総務省だけに答弁内容も多岐にわたる。与野党の質問者の意図を読み解き、的確かつ簡潔な答弁と円滑な委員会審議に努めている。質疑論戦を通じて与野党議員との信頼醸成に繋がることもあり、まさに国政を前に動かしているダイナミックな一面を副大臣として体感する日々を過ごしているようだ。ぜひ、政治家としての深みを磨いてほしい。

▲総務委員会にて答弁

▲政治倫理の確立および選挙制度に関する特別委員会にて答弁

▲金子総務大臣に代わり答弁する機会も多い

ワクチン供給

「総務省新型コロナウイルス等地方連携推進本部」の本部長代理を務める田畑は、全国の都道府県知事や政令指定都市市長に直接電話でワクチン3回目接種の事前しを要請するとともに、各地域における課題や困りごとを丁寧に取り組み、また、その結果を首相官邸や厚生労働省をはじめ政府全体と情報共有するなど、連携業務にも尽力している。これまでも堀内の子ワクチン担当大臣（当時）のチームの一員として、医療関係

団体、経済界、教育関係者等と意見交換を重ねてきた田畑は、「地方からの国民の声が永田町、霞が関に届いて伝わり、政策判断がズレてしまふ。地方に寄り添う総務省は常に地方との対話を通じて国民ニーズの把握に努めねばならない。丁寧な対話と適切な行政判断を重ねることが我々の責務だ」と厳しい口調で語り、今も3回目接種推進の任に全力で当たっている。

▲全国41道府県の知事に直接電話にてワクチン追加接種の事前しを丁寧な要請

▲富山市のワクチン接種特設会場である富山市保健所を藤井市長とともに視察

▲堀内の子ワクチン担当大臣（当時）とチームを組み、追加接種に関する各職域団体等と定期的にオンライン意見交換会を実施

郵政

総務省が監督している日本郵政グループが、大きく変わろうとしている。「JPビジョン2025」として2025年を目標に、顧客と地域を支える共創プラットフォームづくりを目指す。現在すでに職員とのふれあいのあるリアル郵便局事業とスマホ等のデジタル技術デジタル郵便局の融合や「集配用車両」へのEV導入拡大など、安心・安全で豊かな事業提供に向けて取り組みが進められているが、田畑も議論の中心となって「もっと国民目線のサービスを」と更なる顧客満足度向上に向けてアイデアを生み出している。

▲富山南郵便局の年賀郵便元旦配達出発式にて

▲大正時代に建築された滋賀県近江八幡市の旧八幡郵便局にて

情報通信

岸田政権の最重要政策と位置づけられ、総務省が推進している「デジタル田園都市国家構想」。デジタル技術を活用することで住む場所にかかわらず「都市の活力」と「地方のゆとり」の両方を享受できる社会の実現を目指す。総務省が「5G基地局整備」や「大規模データセンターの分散立地」、「日本列島を周回する海底ケーブル整備」など情報通信インフラ整備の旗振りも務めている。田畑は金子総務大臣とともに地方自治体等とも対話を重ね、つつ、強力なリーダーシップを発揮しながら地方から国全体を成長させようとしている。

▲佐賀県産業スマート化センターにてIT企業経営者と対話

消防

世界から高い評価を受けている日本の消防組織。その根幹は常備消防機関（消防本部・消防署）だが、あわせて市町村の非常備消防機関として消防団がある。構成員である消防団員は、平時にあっては主に本業を有しながら消防訓練や応急手当訓練を通じて災害の予防に努めている。その消防団員が年々減少しており、消防庁を担当する田畑はこの流れに歯止めをかけるべく奮闘中だ。若年層に向けては芸人の「和牛」をリーダーとした「和牛消防団」を結成し入団促進キャンペーンを主導。また、現役団員との意見交換を重ね、処遇改善を進めるなど様々な活動を展開している。

「消防団員は、家庭や本業を持ちつつ、地域を守るという強い使命感で頑張ってください。やりがいを持って活動が続けたい」と熱く語る。

▲消防団用の車両製造工場にて

▲和牛消防団結成式にて総務副大臣として辞令交付

▲1月26日の文化財防火デーにおける国宝迎賓館赤坂離宮での防火訓練後に講評・訓示